

会議録

資料1

会議の名称	川島町学校規模適正化検討委員会第5回会議	
開催日時	平成25年12月20日(金) 午後1時30分～3時11分	
開催場所	川島町民会館 1階 研修室	
議題	(1) 会議録署名委員の指名 (2) 小委員会第2回会議について（報告） (3) 川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ（案）について (4) その他	
公開・非公開の別	公開	
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	第1号委員 梶野賀一郎、栗原 保 第2号委員 岡部登一、鈴木俊夫、伊藤禎章、小久保 彰 第3号委員 岡部俊夫、山崎 武 第4号委員 蓮見重人、佐藤路傍 第5号委員 三田成克、染矢洋文 第6号委員 椎橋政広、藤間文隆、矢部京子、山口扶由子
	事務局職員	教育総務課 渡辺英夫、大野喜裕、山崎清美、金井桂子
配布資料	資料1 川島町学校規模適正化検討委員会第4回会議録 資料2 川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ（案）	
審議会等の内容・概要		
1 開会	教育総務課長	
2 あいさつ	岡部副会長 教育長	
3 前回会議の会議録について（報告）		
4 議事		
※ 加藤会長が体調不良による欠席のため、岡部副会長が議長となる。		
(1) 会議録署名委員の指名	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎武委員と蓮見重人委員を指名した。 	
(2) 小委員会第2回会議について	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局が小委員会第2回会議内容を報告する。 	
(3) 川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ（案）について		
【質疑】		
議長・事務局より、川島町学校規模適正化基本方針中間とりまとめ（案）の説明をお願いします。		
課長・《案について説明》		
議長・ただいまの事務局からの説明に対しまして意見がありましたら、お願ひいたします。		
委員・昨年の研究会から引き続いての委員なので、課長の説明がよくわかった。		
委員・11ページに定期的な大規模改修とあるが、老朽化だけでよいのか、耐震化の内容は入れないので？		
課長・老朽化対策については、おおむね20年の区切りで国の補助金を利用しながら大規模な改修を行っています。学校によっては、すでに2回、改修しているところもありますが、躯体自体の老朽化は進行しています。耐震化については、構造部の耐震		

化がすべての学校で終わっており、現在は、窓ガラス等の非構造部材の耐震化を行っているところですので、説明に加えるようにしたいと思います。

委員・3ページの下の方に「線引き」の決定で、中山・伊草地区の大部分が市街化になったとあるが、6地区が同じように開発できるような地区にしてもらいたい。

議長・この件については、長期的に町で検討してもらうことで、違う場で検討してもらおうと思うが、4地区は短期的には人口が増えない状況なので、小学校の統合の検討が必要だと考えます。

委員・11ページの(1)通学距離及び通学手段に「何らかの通学支援策」とあるが、何か考えはあるのか?

課長・今のところは、案として持っていない。

委員・スクールバスを利用している所では、運動能力が下がっているのが問題になっていると聞いたがどう考えているか?

議長・スクールバスを使っても、集合場所まで歩くとか、今後検討していくべきだと思います。

委員・中間とりまとめはりっぱにまとめていると思う。現実として、来年度から八ッ保小学校の複式学級が始まったり、数年先には三保谷小学校の新入学児が5名となる日がくるのだから、できるだけ早く良い方向へ向かいたい。

委員・スクールバスはいいが、中山・伊草を抜かした4校で一つになるのか二つになるのか、今の施設を潰してどこかを生かすのか、全部を潰すのか、その方向によっては、地域の活動もあるので、抵抗性が出てくると思う。

委員・誤解を招かないように、文章の表現でいくつか変えた方がいいと思う。もっと細かい所は後で言いますが3つある。1つは、11ページ「8適正規模確保の取組にあたって検討すべき事項について」とあるが、今後と入れた方がいい。2つ目は、(1)通学距離及び手段の中で「小学校ではおおむね4キロメートル中学校ではおおむね6キロメートル」とあるが、これより遠い人はいるか?

課長・いません。

委員・いないのなら、おおむねを使わない。3つ目は、9ページ中ほど、「1学級の定員を40人とした普通学級」のところは、括弧書きをはずしたほうがいい。

議長・三点ばかり指摘がありました。文言を変えられるところは、変えたいと思います。

委員・中間とりまとめということで、わかりやすい。この委員会は来年12月までだが、第5次総合振興計画ということで何となくわかったが、総合振興計画は平成32年までだが、めやすはいつ統合するのか?

課長・いつ統合するかということですが、まだ緒についたところで、今後、教育委員会に報告書を提出し、町や議会、町民の皆様にご理解頂いてということになります。この委員会でどこまで決めていけるかということも含めて、まだ最初のステップということになります。

委員・今現在も困っているのだから、どうか早急に短時間でやっていけないか。5~10年もたったのでは、今いる子供達に反映されなくなってしまう。

委員・初めて見たが、全体的にわかりやすい。親の立場からは、9ページ中ほどの、1学級の定員40人は多いと思う。下の方に35人も検討されています。とあるが、児童数の問題は大きなことである。

課長・40人は国の法律で決められた1つの基準です。昨年のアンケートの中では、20人~30人がよいという意見が多くありましたが、逆に人数を記述することによって縛られてしまうのではないかという小委員会の意見もあり、この記述になりました。

議長・理想の1クラスの児童数は何人くらいがいいと思いますか?

委員・40人だとどうかと思う。30人くらいが親はいいと思う。

委員・川島町の学校規模は、10ページの中央2行で言い表していると思う。「1学年あ

たりの学級数は、複数とする。」「全学年の学級数は、12学級以上18学級以下とする。」でいいですね。スクールバスの集合場所として、元の小学校に集まるこことでもいいのか？

課長・本町においても、全学年の学級数が12学級以上18学級以下を適正な規模とえますと、1学年あたりの学級数は複数ということになります。よって、中山小・伊草小以外の小学校については、現在の状況が合致しないことから望ましい学校規模にするため、統合という手段を選ぶというものです。この2点が重要であると考えます。また、スクールバスの関係ですが、研究会の報告書にもある栃木県芳賀町では、学校統廃合による通学手段としてスクールバスにしたところ、児童の体力が低下傾向にあるとも伺っています。検証すると思いますが、本町においても、今後、通学手段を検討する際に考えていく必要があります。

委員・メリットがデメリットにならないように、学校の先生と保護者がコミュニケーションをとり協力しないと、より良い環境が築けないと思う。より良い教育を推し進めていければいい。

委員・本来の議論から少しそれぞれが、中学校は複数クラスがよい。例えば1学年81人だと27人ずつの3クラス、80人だと40人ずつの2クラスになる。大勢の方が楽しい、友達が多い方が社会性や競争意識があってよいと、生徒は言っている。

委員・この方向性が良いと思う。統合が望ましい。小規模校のメリットを継承していくのが良い。学校と地域の良好な関係が保たれるようにしたい。その後、教育財産もどうするのか調べておくことも必要だと思う。

委員・伊草小学校も前より人数が減っていて、競争意識がなくなっているのか学力が落ちているように思う。適正な人数が必要だと思う。小学校は昭和40年代にほとんど建っていて耐震性がないのではないか。伊草公民館の壁も前回の地震でひびが入った。

議長・まとめましょう。

委員・配置と規模の適正化が求められているから、11ページの今後検討すべき課題に明記しないといけないと思う。

議長・ここでは、10ページまでを中間とりまとめとし、文言の訂正等があれば1月10日までに教育総務課へ連絡してほしい。後に1月の全体会で決めたいと思います。

(4) その他

委員・この場で(案)が消されるのでなく、次回に意見があれば出されて、次回に(案)が消されることでいいのか。

議長・1月末の全体会議で決めたいと思います。

課長・皆さん慎重審議ありがとうございました。意見等がありましたら、よろしくお願ひします。

5 閉会 教育総務課長

署名	山崎武	印
	蓮見重人	印